



(写真) 選挙管理委員会 (CNE) “CNE 大統領選の投票画面を公開”

2024年5月8日(水曜)

政治

「[ペトロ大統領・ルラ大統領 国民投票の内容](#)  
～選挙敗者の継続的な政治参加を約束～」

「[CNE 大統領選の投票画面を公表](#)」

経済

「[Ecopetrol OFAC に制裁ライセンスを申請](#)」  
「[マドゥロ政権 Eway による燃料輸入を許可](#)」  
「[CENDAS-FVM 基礎生活費は月額1200ドル](#)」  
「[CITGO 24年Q1の純利益4.1億ドル](#)」

社会

「[子供との疑似結婚式開催で逮捕?](#)」

2024年5月9日(木曜)

政治

「[PSUV 副党首 ゴンサレス氏の健康に疑義](#)」

経済

「[年金負担特別法 官報に掲載](#)  
～違反した法人には重い罰則も～」

「[ファルコン州の電力施設 日本の技術を使用](#)」

「[Roraima アンソアテギ州で原油採掘開始](#)」

「[CEPAL ベネズエラの GDP 成長率4%増](#)」

社会

「[米国 20年でベネズエラ移民573%増](#)」

「[検察庁 脅迫・児童虐待でガルシア兄弟逮捕](#)」

2024年5月8日（水曜）

## 政治

「ペトロ大統領・ルラ大統領 国民投票の内容  
～選挙敗者の継続的な政治参加を約束～」

4月10日 ペトロ大統領がベネズエラを訪問し、マドゥロ大統領およびマニエル・ロサレス氏（当時は大統領選に出馬していた）に対して、「政治平和のための提案」を実施（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1049](#)」）。

その後、ブラジルのルラ大統領と協議を実施し、両名は国民投票の実施を提案した。

この「国民投票」が、具体的にどのような内容の投票なのか曖昧だったが、そのおおよその内容が判明した。

5月8日 コロンビアのルイス・ヒルベルト・ムリジョ外相は第54回米州評議会（COA）において、コロンビア政府がベネズエラの政治問題を解決するためにどのように尽力しているかを説明。

ペトロ大統領とルラ大統領が提案した国民投票について

「我々は、選挙プロセスが受け入れられる形で進むことを期待しており、外交ルートを通じてベネズエラ政府・野党・米国ワシントンを含めて様々な関係者と協議を行っている」

「我々がやろうとしていることは、選挙後に全ての候補者の安全を保障するよう合意を交わすことだ」

「我々の目的は、選挙で敗北した候補者の今後の選挙権を保障することだ」と説明した。

つまり、コロンビア政府とブラジル政府の行おうとしていることは、仮にマドゥロ大統領が選挙で敗北したとしても、彼の政治権を保障することになる。

政権移行をスムーズに実現することを目的とする提案と理解できるだろう。

「Centrados」から大統領選に出馬しているエンリケ・マルケス候補は、この提案を歓迎。MCM氏はこの提案について否定的な反応はしていないが、国民投票の実施に前向きな姿勢も示していない。

一方、与党「ベネズエラ社会主義統一党（PSUV）」のディオスダード・カベジヨ副党首は、ムリジョ外相の発言を批判。

「あの発言をするよう誰に命じられた？コロンビア大統領か？それとも米国大統領か？誰のために働いている？あなた方にベネズエラの移行について語る権利はない」

「ベネズエラで起きる唯一の移行は社会主義への移行であり、それ以外の移行は起きない」「彼は米国政府の人間であり、コロンビア政府の人間ではない」と訴えている。

## 「CNE 大統領選の投票画面を公表」

5月8日 「選挙管理委員会（CNE）」は、7月28日に予定されている大統領選の投票画面を公表した。

ベネズエラの投票は電子投票。

電子投票機に本稿表紙の投票画面が表示され、支持する候補者の顔をプッシュすることで投票を行う仕組みになっている。文字の読み書きができない人でも投票できるよう意識した設計になっている。

下の通り、マドゥロ大統領の顔写真は左上部に並んでおり、一目で認識できる。一方で、野党統一候補であるエドモンド・ゴンサレス氏の顔写真は「Mesa de la Unidad (MUD)」「MPV」「UNT」の3政党に表示されているが、中々見つけにくい。

こういった小さな部分でも与野党の有利不利を垣間見ることが出来る。



(写真) CNE

## 経 済

### 「Ecopetrol OFAC に制裁ライセンスを申請」

「Bloomberg」は、コロンビアのエネギー会社「Ecopetrol」が、米国「外国資産管理局 (OFAC)」に制裁ライセンスを申請したと報じた。

同申請は、「Ecopetrol」がベネズエラから天然ガスを輸入するため、在米コロンビア大使館を介して行われたという。

「Bloomberg」によると、コロンビアは2025年に発電のために使用する天然ガスの供給量が不足する見通しだという。

Ecopetrol の Ricardo Roa 社長も「天然ガスの取引に関して PDVSA との協議を進めるため、米国政府に対して制裁除外の申請を行っている」とコメントしている。

### 「マドゥロ政権 Eway による燃料輸入を許可」

「Bloomberg」は、マドゥロ政権が「Eway」という企業に対して、燃料（ディーゼル燃料・低硫黄ガソリン）をベネズエラに輸入することを許可したと報じた。

Bloomberg によると、同許可は24年3月に出されていたという。

ベネズエラは産油国ではあるが、精製施設の稼働率は低く、燃料は外国に依存する傾向にある。米国の制裁を受けて、ベネズエラは燃料調達が困難になっており、その対応策と思われる。

Eway の Luis León 社長によると、石油省が許可したディーゼル燃料・低硫黄ガソリンの調達は工業用途の燃料のみだという。

### 「CENDAS-FVM 基礎生活費は月額1200ドル」

物価調査を行う団体「CENDAS-FVM」のオスカル・メサ代表は、現在のベネズエラの基礎生活費（5人世帯）について月額1200ドルとコメントした。

ベネズエラでは「基礎食糧費」について報じられることが多い。これは1世帯が1カ月の食事のために必要なコストのことを指す。

一方「基礎生活費」とは、食費に加えて「交通費」「医療費」「教育」「生活雑費」「娯楽費」「公共サービス費」など食事以外に必要な費用を加えたもの。



メサ代表によると、この1200ドルのうち食費は約半分を占めており、24年3月の調査では食費だけで月額554ドルが必要との見解を示した。

## 「CITGO 24年Q1の純利益4.1億ドル」

PDVSAの米国関係会社「CITGO」は、2024年第1四半期の財務結果を発表した。

CITGOは4.1億ドルの純利益を計上。

EBITDAは7億900万ドル。

修正EBITDAは6億7700万ドルだった。

なお、23年第1四半期は、純利益9億3700万ドル。EBITDAは140万ドルだったという。

また、24年第1四半期の精製実績について、平均で日量83万バレルとなり、前年同期の日量77.2万バレルよりも増えた。

CITGOのカルロス・ジョルダ社長は、「原油および原料の精製は当社史上3番目の高水準だった」「2つのプラントで計画的なプラント停止を行ったが、今回の結果を達成した」と強調。

加えて「2つの施設の再稼働に成功し、オペレーションの柔軟性・重質原油の処理能力を増やすことに成功した。今後も戦略的投資の可能性を追求していく」とコメントした。

## 社 会

### 「子供との疑似結婚式開催で逮捕？」

タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、ベネズエラ人女性 Mariana Zambrano 氏と、彼女の事実上の夫 Héctor Guevara 氏に逮捕令状を発出した。

罪状は子供への性的虐待。

Mariana Zambrano 氏には、娘（恐らく3～4歳）がおり、その娘が Héctor Guevara 氏と王女様と王子様が結婚式を行っているような映像を撮影。この映像をソーシャルメディアに投稿した。

サアブ検事総長は、この映像について「Mariana Zambrano 氏は事実上の夫である Héctor Guevara 氏が自身の娘の口にキスをし、首にもキスをすることを許可した」「小児愛にあたる」と訴えている。

筆者も問題の映像を見たが、女兒が嫌がっているような雰囲気は無く、夫も冗談で行っており、家族の仲睦まじい1シーンのように見える。

もちろん女兒がどのように感じたのかは本人次第なので何とも言えないが、一般のベネズエラ人も筆者と同様の認識をしており、今回のサアブ検事総長の逮捕発表を失笑するコメントが散見される。



（写真）@800Noticias

2024年5月9日（木曜）

## 政治

## 「PSUV 副党首 ゴンサレス氏の健康に疑義」

与党ナンバー2と言われるディオスダード・カベジョ PSUV 副党首は、自身が司会を務めるテレビ番組「Con El Mazo Dando」に出演。

野党統一候補に選ばれたエドムンド・ゴンサレス氏の健康問題について、「彼は家を出ないと言っていた。しかし、家から出ることを強要されている」「彼はそのような状況ではないが、強要されている」「がんばれエドムンド。投票のためと言え、いつかは家を出ることになる」とコメントした。

エドムンド・ゴンサレス氏は、野党統一候補に指名されたが選挙キャンペーンは行っておらず、マリア・コリナ・マチャド氏（MCM）が地方を周り、ゴンサレス氏への投票を呼び掛けている。

これは MCM が実質的な野党統一候補という前提の作戦と認識されているが、ゴンサレス氏の体調にも理由があるのかもしれない。

なお、ゴンサレス氏自身はインタビューで「高血圧などを理由に薬は常用しているが、深刻な健康問題はない」と説明していた（[「ウィークリーレポート No.354」](#)）。

## 経済

## 「年金負担特別法 官報に掲載

～違反した法人には重い罰則も～

企業が年金の一部を拠出することを制度化する法律「帝国主義の妨害から年金を守るための使用者負担に関する特別法」が官報で公布された。

拠出額はかねてから報じられていた通り、「基本給」と「ボーナス」を合算した金額をベースとして、最大15%（第7条）。

拠出対象は企業に加えて、ベネズエラで経済活動を行っている全ての団体としており、正式に法人登記していなかったとしても拠出義務から逃れることはないと定められている。

拠出頻度は各月。

この拠出は決算の際に「経費」として控除されるという（10条）。

支払い遅延は利息が課せられる（12条）。

また、同支払いの申告を怠った法人・団体には、ベネズエラ中央銀行が公表する最も高額な為替レートの1000倍の罰金が科されるという（13条）。

オリジナルの官報は[「Bancaynegocios」](#)を参照されたい。

## 「ファルコン州の電力施設 日本の技術を使用」

ファルコン州ミランダ市（コロ）のサン・アントニオ地区で「インデペンデンシア 115/13.8kV 変電所」の落成式が行われた。

現地メディア「Ultimas Noticias」によると、同変電所は、電気エネルギー省・Corpoelec（電力公社）、州政府、民間企業の協力により建設されたものだという。

この施設は36MVAの変電能力を有しており、コロ東部に住む約4万世帯に電力を供給する。

今回、鉄塔・避雷針、高圧ケーブル、30本のポリマーボールなど施設の安定性を確保するための電機部品を設置しており、請負業者XPの指揮の下で、日本の技術が提供されたと報じられている。

## 「Roraima アンソアテギ州で原油採掘開始」

4月16日 与党国会は、「Grupo JHS」の関係会社「A&B Oil and Gas」とPDVSA（正確にはPDVSA関係会社のCVP）による合弁会社「Petro Roraima, S.A.」の設立を承認した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1051](#)」[「No.1052」](#)）。

「Roraima, S.A.」は、アンソアテギ州のオリノコ原油地帯の採掘を行う会社。

現在のところ、当該地域の産油量は日量2.2万バレルだが、2024年末までに産油量を日量4.5万バレル、3年後に日量12万バレルまで引き上げることを目標としている。

5月9日 「Roraima, S.A.」の事業開始イベントが開催された。

同イベントにはPDVSAのLuis Molina Duque副社長、A&B Oil and GasのJorge Silva社長が出席した。

Jorge Silva社長は「石油当局と協力して同地域の開発に取り組む」とコメント。「最初の段階として500名超の労働者を雇用した」と述べた。

## 「CEPAL ベネズエラのGDP成長率4%増」

国連「ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）」は、2024年のラテンアメリカ地域の経済見通しを更新した。

CEPALによると、ラテンアメリカ・カリブ地域のGDP成長率は前年比2.1%増。

前回の見通し（2023年12月）の同1.9%増から0.2ポイント引き上げた。

また、南アメリカ地域のGDP成長率は、前年比1.6%増、中央アメリカ地域（メキシコ含む）は同2.7%増、カリブ地域は同2.8%増（ガイアナ除く）とした。

ベネズエラは同4.0%増で、23年12月の見通しから変わっていない。

他に特筆すべきはガイアナで、同国のGDP成長率について前年比34.3%増と著しい経済成長を予見している。

América Latina y el Caribe: Proyecciones de crecimiento actualizadas para 2024

	Crecimiento del PIB
	2024
<b>América Latina y el Caribe</b>	<b>2,1</b>
<b>América Latina</b>	<b>1,9</b>
<b>América del Sur</b>	<b>1,6</b>
Argentina	-3,1
Bolivia (Estado Plurinacional de)	1,9
Brasil	2,3
Chile	2,3
Colombia	1,3
Ecuador	2,0
Paraguay	3,8
Perú	2,5
Uruguay	3,6
Venezuela (República Bolivariana de)	4,0
<b>América Central</b>	<b>3,1</b>
<b>América Central y México</b>	<b>2,7</b>
Costa Rica	3,9
Cuba	1,3
El Salvador	3,0
Guatemala	3,4
Haití	-2,0
Honduras	3,5
México	2,5
Nicaragua	3,5
Panamá	3,0
República Dominicana	4,5
<b>El Caribe</b>	<b>9,6</b>
<b>El Caribe (excl. Guyana)</b>	<b>2,8</b>
Antigua y Barbuda	8,2
Bahamas	1,8
Barbados	3,9
Belize	4,1
Dominica	3,5
Granada	4,2
Guyana	34,3
Jamaica	1,9
Saint Kitts y Nevis	3,7
San Vicente y las Granadinas	4,6
Santa Lucía	7,0
Suriname	2,8
Trinidad y Tabago	2,4

Fuente: CEPAL, actualización a mayo de 2024

Nota: América Central incluye a Cuba, Haití y República Dominicana

(写真) CEPAL (2024年5月更新のGDP見通し)

社会

「米国 20年でベネズエラ移民573%増」

「正義・平和センター (Cepaz)」の Nicole Hernández 調査員は、過去20年間の米国における移民の増加傾向について説明。

「Pew Research Center」によると、2021年時点で米国に移住したベネズエラ人は64万人。20年前は9.5万人だったという。つまり、この20年間で約573%増えたことになる。

国連の「難民高等弁務官事務所」は、現在のベネズエラ移民について、世界に770万人いると試算している。また、移民の流れは現在も止まっておらず、2025年には840万人になると見込んでいる。

「検察庁 脅迫・児童虐待でガルシア兄弟逮捕」

ここ数日、ベネズエラでは Rebeca García 氏（女性）と Francisco García 氏（男性）の兄弟に関する事件が注目されている。

きっかけは Anny De Trindade という人物によるソーシャルメディアへの投稿。

Trindade 氏によると、彼女は2020年から Rebeca 氏による嫌がらせを受けており、何度も電話やインスタグラムで脅迫を受けたという。

Trindade 氏の他に、歌手の Dani Barranzo 氏、Eugenia Siso 氏、Sifrina Millennial 氏らも Rebeca 氏から嫌がらせを受けたと告発。

Rebeca 氏は、過去にも自動車に飛び乗り運転手を脅迫した映像が拡散され、メディアを騒がせたことがあった。

その後、精神病院に入院したようだが、素行不良は直らなかつたようだ。

また、Orlando Avendaño 記者は「Rebeca 氏の兄弟である Francisco García 氏も小児愛者である」と投稿した。Avendaño 記者によると、Francisco 氏は「Club La Lagunita」にて児童の写真を撮影し、その写真を自身のインスタグラムに掲載していたという。

これらの告発を受けて、タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は「脅迫」の罪で Rebeca García 氏を逮捕。児童への性的虐待の容疑で Francisco García 氏を逮捕すると発表した。

なお、Francisco García 氏は自身の Facebook を更新し、「私は罪を犯していない。撮影した人々の写真は歴史上最も偉大なプロジェクトだった」と投稿。無実を訴えた。



(写真) 検察庁 X

以上